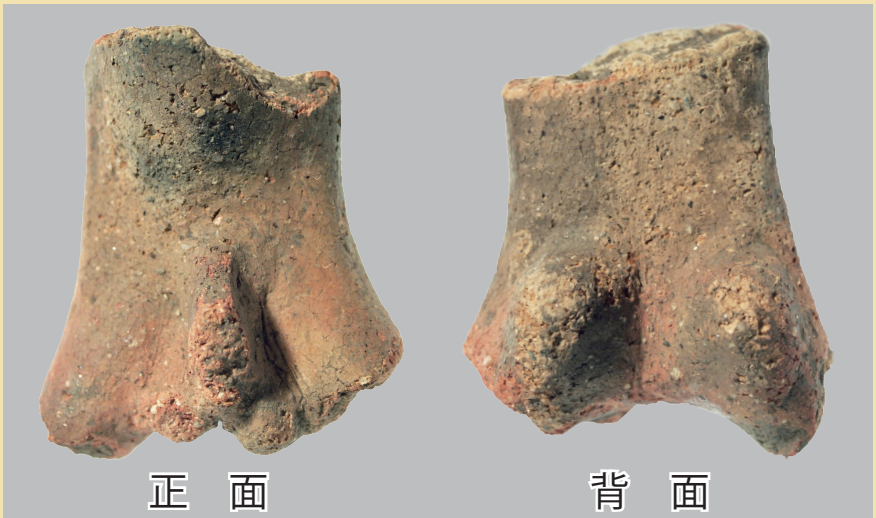
石鳩岡遺跡は花巻市東和町の北部に位置し、JR 釜石線土沢駅の北東約 4.8km、標高約 200m の絹川北岸に張り出す台地上に立地しています。

本遺跡は遺跡範囲及び内容確認のため、過去 3 度の発掘調査が行われ、主に縄文時代後期 (約 4,000 ～ 3,000 年前) の土器や石器・土偶・土製品などが見つかりました。

特に注目すべき遺物は、外形からみて男性をモチーフにしたとみられる土偶が見つかりました。また個人所有ではありますが、人面付きの石棒も遺跡内から出土しています。さらに、考古学者の江坂 輝彌氏による著書『土偶』(1960 年刊行) には、本遺跡から出土したと伝えられている人面付壺形土器が掲載されています。

このような珍しい遺物などが多数みつかっているので石鳩岡遺跡は住まいだけではなく、お祭りやお祈りなどの儀式を行う場所としても使われていたのかもしれません。



異形の土偶 (1995 年調査)　※土沢振興センター展示